

昭和59年 WHEEL HOUSE, CONTROL ROOM

1. 「ATLANTIC UNIVERSAL」 「船の科学」1984 - 4 (Vol.37, No.4) 及び1984 - 5 (Vol.37, No.5) より採取。

1) W59 - 01 ATLANTIC UNIVERSAL 本船全景

- ・ 570,000 CFT 型省エネ冷凍貨物船
「ATLANTIC UNIVERSAL」 DWT 12,468 t
本船の貨物は南アフリカ産 果物、肉類、酪農
製品、濃縮ジュース、コンテナなど。
貨物倉温度 +12.5 ~ -30
- ・ 船主 : Atlantic Reefers Ltd. (Bermuda)
- ・ 建造 : 三菱重工業 (株) 長崎造船所
昭和59年1月7日 竣工

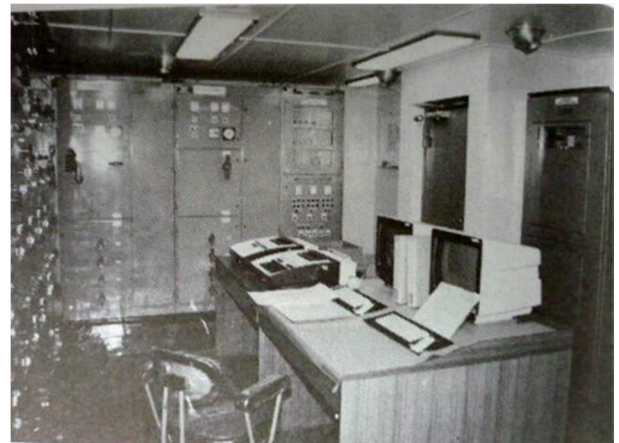


- ・ 1) は本船全景、2) は操舵室
- ・ 3) は冷凍装置制御室、冷凍システムの制御・監視システムはスウェーデンの STAL 社製を使用している。各ホールドにコンピュータを配し、これらは機関制御室の中央コンピュータにて制御する方式をとっている。

2) W59 - 02 ATLANTIC UNIVERSAL 操舵室



3) W59 - 03 ATLANTIC UNIVERSAL 冷凍装置制御室



2. 「泉州丸」 「船の科学」1984 - 5 (Vol.37, No.5) より採取。

- ・ 125,000 m³ 型 LNG 運搬船「泉州丸」、DWT 69,594 t モス方式独立球型 LNG タンク × 5
インドネシアから日本 (知多, 泉北, 姫路) に LNG を輸送する。(LNG の温度 -160)
- ・ 船主 : 大阪商船三井 (株) 川崎汽船 (株) 日本郵船 (株)
- ・ 建造 : 三井造船 (株) 千葉造船所 昭和59年2月27日 竣工

4) W59 - 04 泉州丸 本船全景

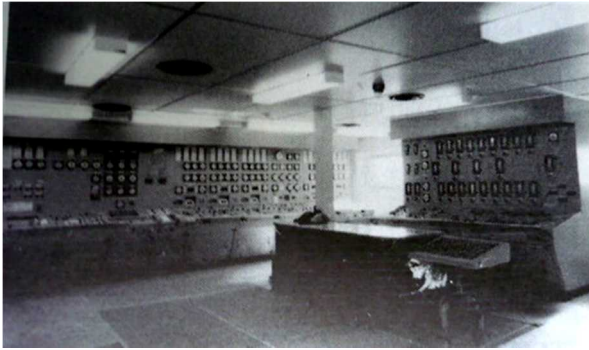


5) W59 - 05 泉州丸 操舵室



- ・ 4) は本船全景、 5) は操舵室、 広々とした操舵室である。
- ・ 6) は荷役制御室で、 操舵室の下に設けられている。 Cargo Console の平面部には貨物弁の開度計、 開閉スイッチ、 カargoポンプの発停スイッチ、 コンプレッサーの遠隔監視盤などが配され、 立面部には温度計、 圧力計、 液面計、 電流計、 各種警報表示灯などが装備されている。
- ・ 7) は機関制御室で、 主タービンの操縦、 ボイラーその他の機関室内機器の操作、 監視など、 また LNG 船の特色であるカーゴタンクで発生するボイルオフガスの燃焼、 ボイラーの余剰蒸気の処理等を行う。

6) W59 - 06 泉州丸 荷役制御室



7) W59 - 07 泉州丸 機関制御室



3 . 「東海丸」 1984 - 6 (Vol.37, No.6) より採取。

- ・ AT ファン・LV 船型採用の省エネルギー
超大型油槽船「東海丸」 DWT 238,000 t
長さ 301m, 巾 54.5m, 深さ 30.3m
低燃費型主機関、主機関直結発電システム、
大型肥大船型 (LV 船型) プロペラ後方の
回転流のエネルギーを推力に変換する AT
フィンなど採用。
- ・ 船主 : 大協タンカー (株)
- ・ 建造 : 石川島播磨重工業 (株) 呉第一工場
昭和 59 年 3 月 30 日 竣工

8) W59 - 08 東海丸 本船全景

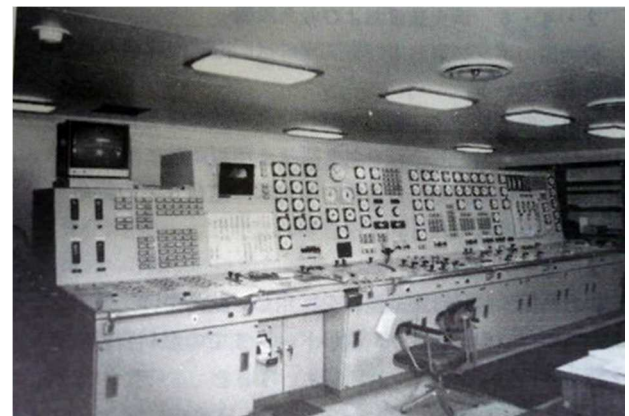


- ・ 8) は本船全景、 9) は操舵室、 IHI 製 Data Bridge (自動操船、衝突予防レーダ、 NNSS, Gyro Compass, Doppler Sonar と組み合わせられた船位測定、航法計算システムなどで構成される) が見える。
- ・ 10) は荷役制御室で、 Console には Graphic Panel が用いられ、 弁やポンプの遠隔制御・監視が行われる。
(荷油弁の開度監視、 開閉制御、 荷油ポンプ、 セルフストリップ装置の監視・制御、 荷油槽、 バラスト槽、 燃料槽の液面測定、 船首、 船尾及び中央部の喫水計測 など)

9) W59 - 09 東海丸 操舵室



10) W59 - 10 東海丸 荷役制御室



4. 「ベティ ビー」(BETTY B) 「船の科学」1984 - 8 (Vol.37, No.8) より採取。

- ・世界最大級 65万 CFT 型冷凍貨物運搬船「ベティ ビー」 DWT 14,803t 貨物倉温度 -25 ~ +13
- ヨーロッパ中心に青果物(バナナ、オレンジ等の果物、野菜、肉類など)の運搬に従事。
- ・船主 : 多度津商事(株) ・建造 : 波止浜造船(株) 昭和59年2月6日 竣工

・11) は本船全景、12) は機関制御室内の冷凍装置制御盤。

11) W59-11 ベティ ビー 本船全景



12) W59-12 ベティ ビー
冷凍装置制御盤



5. 「MAIPO」(メイポ) 「船の科学」1984 - 8 (Vol.37, No.8) より採取。

- ・多目的コンテナ船「MAIPO」 DWT 37,933t
- 一般コンテナ、銅地金・一般貨物撒積、動・植物等、貨物油、冷凍コンテナなどを運ぶ。
- コンテナ積載数は 1,888 TEU
- ヨーロッパ・南米間航行、粗悪油使用可、軸発採用。
- ・船主 : Willington Ocean Shipping Co., S.A. (Liberia)
- ・建造 : 三菱重工業(株) 長崎造船所 昭和59年5月16日 竣工

13) W59-13 MAIPO 本船全景



・13) は本船全景、14) は操舵室、15) は Ballast Control Console

14) W59-14 MAIPO 操舵室



15) W59-15 MAIPO Ballast Cont. Console



6. 「TAIKO」 「船の科学」1984 - 9 (Vol.37, No.9) より採取。

- ・30,000 DWT プロダクト/原油/ピチュメン タンカー「TAIKO」 DWT 33,374t

重油、ディーゼル油等の石油製品、原油、ピチュメン（アスファルト）の輸送を行う。

- ・船主 : Union Steam Ship Company of New Zealand Ltd.(New Zealand)
- ・建造 : 三菱重工業(株)長崎造船所
昭和59年5月30日 竣工

- ・16)は本船全景、17)は操舵室
- ・18)はサーマルオイルヒータ制御盤（ピチュメン（アスファルト）が冷却固着しないよう加熱保温を行っている）

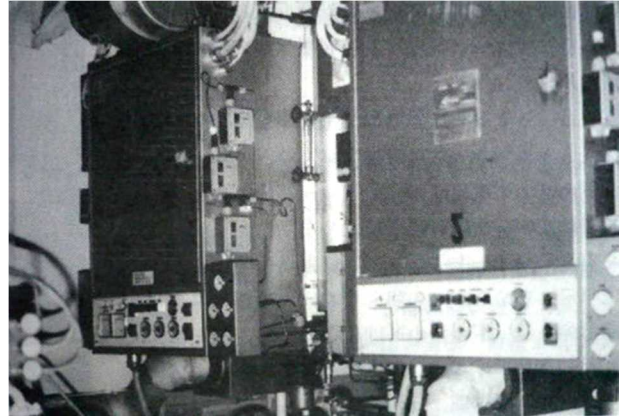
16) W59-16 TAIKO 本船全景



17) W59-17 TAIKO 操舵室



18) W59-18 TAIKO Thermal Oil Heater 制御盤



7. 「HAPPY BUCCANEER」 「船の科学」1984 - 12 (Vol.37, No.12) より採取。

- ・超大型重量物運搬船「HAPPY BUCCANEER」
DWT 13,740t ヘビーデリック 550t×2(2基とも右舷) コンテナ搭載数 1,050 TEU,
主機関 2基、2軸、CPP 付き
- ・船主 : Amstel Tanker Management B.V.(Netherland)
- ・建造 : 日立造船(株)広島工場(因島)
昭和59年8月1日 竣工

- ・19)は本船全景、20)は操舵室、21)は機関制御室で、監視装置は2CPU, CRT 方式で、機関室、前部機械室、船橋でもCRTで監視できるようになっている。

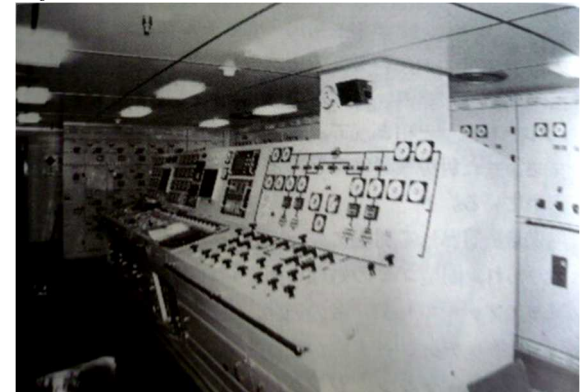
19) W59-19 HAPPY BUCCANEER 本船全景



20) W59-20 HAPPY BUCCANEER 操舵室



21) W59-21 HAPPY BUCCANEER 機関制御室



8. 「新しいわき丸」 「船の科学」1985 - 2 (Vol.38, No.2) より採取。

- ・世界初のCOM 専用運搬船「新しいわき丸」 DWT 5,754 t, COM とは Coal & Oil Mixture (石炭、石油混合燃料) のことで、石油代替エネルギーである。COM は常時70 に保つ必要がありため、グラスウール防熱を施し、温水循環を行っている。COM は日本コム(株)小名浜製造所から東京電力(株)横須賀火力発電所に輸送される。
- ・船主 : 船舶整備公団及び日本コム船(株) ・建造 : 三菱重工業(株)長崎造船所 昭和59年11月6日竣工
- ・22) は本船全景、23) は操舵室、24) は荷役制御室、25) は機関制御室。

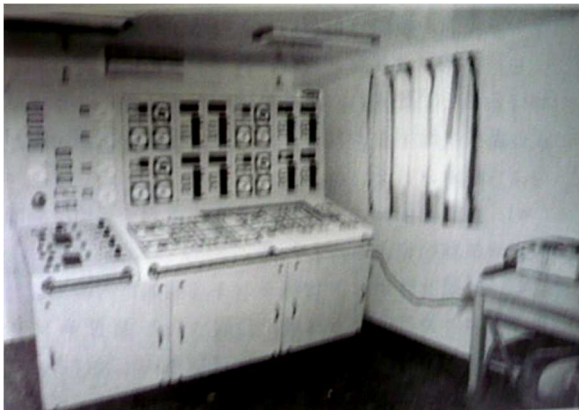
22) W59 - 22 新しいわき丸 本船全景



23) W59 - 23 新しいわき丸 操舵室



24) W59 - 24 新しいわき丸 荷役制御室



25) W59 - 25 新しいわき丸 機関制御室



9. 「USUKI PIONEER」 1985 - 3 (Vol.38, No.3) より採取。

- ・外航帆走撒積貨物船「UTUKI PIONEER」 DWT 26,666 t, 帆寸法 高さ16m×巾20m×2
- ・船主 : 田中産業(株) ・建造 : (株)白杵鉄工所 佐伯工場 昭和59年11月19日 竣工
- ・26) は本船全景、27) は操舵室。

26) W59 - 26 UTUKI PIONEER 本船全景



27) W59 - 27 UTUKI PIONEER 操舵室



10. 「UNITED PEACE」 「船の科学」 1985 - 4 (Vol.38, No.4) より採取。

・ 37,000 DWT 型プロダクト・キャリア 28) W59 - 28 UNITED PEACE 本船全景

「UNITED PEACE」

DWT 37,008t (計画喫水)

オンデッキ・トランス方式を採用 (貨物
タンク内に出来るだけ障害物のない構造)

・ 船主 : Mobility Company S.A(Panama)

・ 建造 : 川崎重工業 (株) 坂出工場
昭和59年11月29日竣工

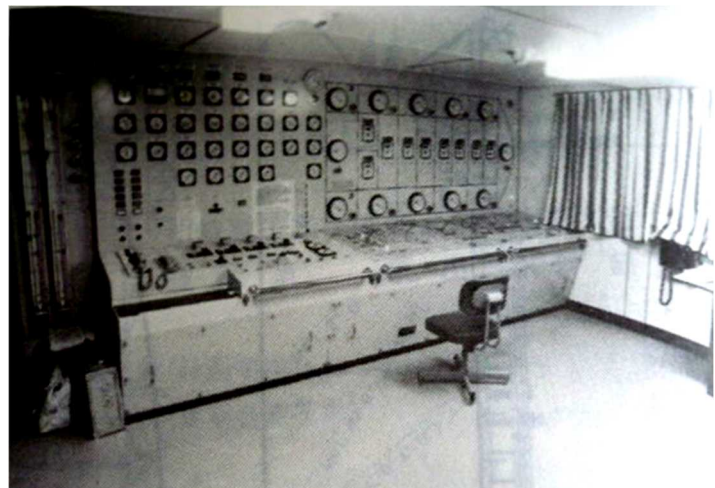


・ 28) は本船全景、29) は操舵室、
30) は Cargo Console

29) W59 - 29 UNITED PEACE
操舵室



30) W59 - 30 UNITED PEACE Cargo Console



[メモ]

- 1) 冷凍貨物船は以前から建造されているが、この年は大型化したのが目につく (57万CFT, 65万CFT)
- 2) ピチュメン (アスファルト) を運ぶ船や COM (Coal & Oil Mixture) 専用運搬船、超大型重量物運搬船など特殊な船が建造されている。
- 3) 省エネルギー対策として目新しいものとしては 大型肥大船型 (LV船型) ATフィン (プロペラ後方の回転流のエネルギーを推力に変換するフィン) などの採用。